

# 会津坂下町「学びのスタイル」

教科や学年、学習内容によって応用しながら実践します。 会津坂下町基礎学力向上推進会議  
会津坂下町教育委員会

過程	学習活動・児童生徒の姿	指導のポイント	小・中共通実践事項 これだけは！
導入	<p>◎ 課題の意識化</p> <p>→ 学習課題・学習のめあて（本時のゴール）をつかむ（何が、どのくらいできるようになればよいのかが分かる）</p> <p>→ <u>追究する価値</u>があると感じ、<u>追究しようとする意欲</u>がわく</p>	<p>○ 問いや学習意欲を引き出す教材提示や活動の工夫</p> <p>○ 「先生の教えたいこと」から「児童生徒の学びたいこと」へ</p> <p>○ <u>学習課題・学習のめあての提示</u></p>	<p><b>学習課題・学習のめあての明示</b></p> <p><b>教師のコーディネート</b></p>
展開	<p>見通す</p> <p>◎ 課題に対する見通し（予想）をもつ</p> <p>→ 予測し解決の方法や見通しを持つ（ゴールに向け、「何を」「どう」考えていくのかが分かる）</p> <p>考える</p> <p>◎ 自力解決する</p> <p>→ 既習事項等を生かして考えていこうとする</p> <p>→ 自分の考えを持つ（書く）</p> <p>→ <u>考えの根拠</u>を持つ</p> <p>深める</p> <p>◎ 学び合う</p> <p>○ <u>考えを共有する</u></p> <p>→ 自分の考えと比べながら友達の考えを聞いたり、意見を述べたりする。</p> <p>→ <u>思考過程や結果を共有する</u></p> <p>○ <u>考えを吟味する</u></p> <p>→ 自分や友達の考えの中からよりよいものを吟味し合い、自分の中で再構成する</p> <p>◎ 教科によっては、適用問題を解く</p>	<p>○ 見通しを持たせる手立ての工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項の活用 等</li> </ul> <p>○ 自分の考えを持たせる時間の確保</p> <p>○ 個に応じた指導・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自力解決が早く終わった子どもへの指示</li> <li>自力解決が不十分な子どもへの支援</li> <li>その後の授業へ生かす、意図的な机間指導</li> <li>一人でできない場合は、困ったことを共有させたり、友達と交流させたりする。</li> </ul> <p>○ 目的、内容、時間に合わせた形態の工夫（ペア・小グループ、学級全体等）</p> <p>○ ペア・小グループ学習を機能させるための経験の積み重ね</p> <p>○ 話合いの視点の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>意見（考え）の正否</u></li> <li><u>根拠の適否</u></li> <li><u>理由の適否</u></li> </ul> <p>○ 考えをまとめる</p>	<p>● 5K</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「活躍させる」</li> <li>「共感・共有させる」</li> <li>「比べさせる」</li> <li>「決定させる」</li> <li>「声を出させる」</li> </ul> <p>● <u>思考を働かせる活動や発問により、考えをつなげる・広める・深める</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達の考えやその続きを考えさせる</li> <li>発表の内容について、もう一度説明させたり書かせたりする</li> <li>意見の相違点、同じ意見の中の根拠の相違点を吟味する 等</li> </ul> <p>「どういうこと？」 （事実・事柄）</p> <p>「どうやって？」 （方法・手順）</p> <p>「どうして？」 （理由・根拠）</p> <p><b>思考力を育てる構造的な板書</b></p> <p>● <u>子どもの思考の過程を残す</u></p> <p>● <u>色分け、矢印、吹き出し、アンダーライン等で思考の流れを可視化する</u></p>
終末	<p>◎ 学習の振り返りと変容の自覚</p> <p>→ 学習課題・学習のめあてに沿って、自分の言葉で振り返る</p> <p>→ 自分の達成度・理解度を判断する</p> <p>→ もっと学習したいことや新たな疑問を見つける</p>	<p>○ キーワードの提示</p> <p>○ <u>振り返り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>何を（内容）、どのように考え（思考過程）、そこから何を理解し（意味）、何を見いだしたか（価値）の実感</li> <li>友達と学ぶよさの実感</li> </ul> <p>○ 次時への意欲付け</p>	<p><b>まとめる</b></p> <p>● <u>「学習課題・学習のめあて」に沿って、自分の言葉でまとめさせる</u></p>

整合性

家庭学習

◎ 「授業の学びが生きる」「学習課題につながる」学習等で、授業と宿題をつなぐ